

飯沼中学校の生徒のみなさんへ

校長 田村 嘉則

飯沼中学校の生徒の皆さん、はじめまして。私は、4月1日より本校の校長として来ました。田村 嘉則（たむら よしのり）です。

新2，3年生の生徒諸君、進級おめでとう。今日は朝から、多くの生徒達が、クラス発表を見たいという気持ちに駆られ、予定の時間よりも早く登校し、昇降口前の掲示場所に歓声が上がっていました。そして、久しぶりに会う友達や先生と話す君たちの表情は、微笑ましいものでした。どの生徒達からも、春の空気を全身で感じ、新しい年度の始めに、「今年も頑張ろう！」という、前向きで、弾むような気持ちに満ちあふれているのを感じました。

すぐに先生方の誘導の指示で、みなさんは、教室に向かいましたね。教室、廊下、トイレなどの窓は、広く開けられ、教室の入口では、マスクをした担任の先生が、アルコール消毒のポンプを持ち、教室に入る前の生徒たちの手に吹きかけていました。ちょっと異様な光景でしたが、みなさんよく知っての通り、いま世界中が新型コロナウイルスと戦っています。昨日は、安倍首相から緊急事態宣言が発せられ、埼玉県も不要不急の外出の自粛が強く求められました。3月から学校が臨時の休校になっていますね。生徒諸君も家庭学習に励み、校庭開放の時間に学校に来て、各自身体を動かすという日々が続いていると思います。

本来ならば、3月には、お世話になった先輩の卒業をみんなで祝い、そして今日は、進級した新しい学年の仲間達との出会い、担任の先生からのお話をじっくり聴く日なのです。しかし、新型コロナウイルスへの対応で、今日は、クラス発表と短時間の学活で下校となりました。本校校長として、大変残念な思っています。

私は飯沼中学校の生徒諸君には、将来、優しく、強く、そして、しなやかに生きる人になって欲しいと願っています。今日は、良い機会なので優しく、強く、そして、しなやかに生きるということについて、お話しします。

まず、針金を想像してください。左右の手で両端を持ち、力を入れれば針金はすぐに曲がりますね。そして曲がったままです。次に、針金と同じくらいの太さの木の枝を想像してみてください。同じく両端を持って力を込めれ

ば、枝は折れますね。そして、枝は折れたままです。最後に同じ木ではありますが、柳の木の枝を思い出してください。柳の木の枝を間近で見たり、触ったりしたことはあるでしょうか。そよ風によくなびき、強風に吹かれても決して折れることはありません。手に取って、折ろうとしても、引きちぎろうとしてもそう簡単には行きません。みなさんには、この柳の木の枝のような、優しく、強く、そしてしなやかな人間になってもらいたいのです。

新型コロナウイルスは、憎むべき相手です。みなさんも悲しい思い、辛い思い、つまらない毎日を過ごしたことでしょう。そして、これからまだしばらくの間、そんな日々が続きます。しかし、しかしです。愚痴や文句、不平、不満ばかりを言ってみたとところで、物事の解決にはつながりません。コロナウイルスへの対応に限らず、人生、たくさんの辛い思いや悲しい思いをします。大小様々な失敗もすることでしょう。しかし、そんな時に、自分の心が、針金や堅い木の枝では、心が曲がってしまったり、ポキンと折れてしまったりしてしまいます。みなさんの心は、柳の木の枝のように、何事もしなやかに受け止め、新たな見方や考え方で体制を立て直し、笑顔で生き生きと生きて欲しいのです。

コロナが憎い、コロナのせいで…と愚痴や文句を言うのではなく、コロナウイルスの一件があったことで、家族の絆が深まった、健康に過ごすことの大切さや注意点を学んだ、家庭学習に取り組み、苦手だった数学の方程式を克服することができた、部活で痛めた足首の捻挫をじっくり治す時間が取れた…など前向きな見方、考え方のできる人になって下さい。

4月、春の空気を全身に感じ、生徒諸君一人一人が今、心に抱いている、新鮮でやる気に満ちた気持ちを大切にして下さい。今まで過去にどんなことがあったかなんて関係ありません。本校の先生方は、それぞれのキャラクターでみなさんを全力で応援します。今日から、今ここから、気持ちを前向きに変え、飯沼中学校で思い切り青春して下さい。

近いうちに、また君達の元気な姿を見ることを楽しみにしています。生徒諸君もしっかりと家庭学習に励み、各自で運動不足にならないように工夫して過ごして下さい。

令和2年4月8日 春日部市立飯沼中学校長